灘区医療介護サポートセンター便り

2021年(令和3年) 12月 第4号

発行 灘区医療介護サポートセンター 担当 西面
住所 灘区水道筋1丁目24 灘区医師会館内 電話 078-801-1120 FAX 078-801-1121

皆さまにおかれましては、この一年間いろいろな経験を蓄積してこられたことと思います。また、様々な困難な状況の中、日々ご尽力いただきありがとうございます。引き続き新たな生活様式の実践と感染拡大防止対策は重要となります。

「医療介護サポートセンター」は地域の医療・介護関係者の連携をサポートすることで、安心して暮らせる地域づくりを目指します。「サポートセンター便り」では、医療職・介護職の皆さまの連携に役立つ情報や研修会等の活動報告を発信してまいります。

研修会報告

在宅医療・介護に携わる多職種の相互理解や情報共有ができ、皆さまが連携して取り組める体制づくりを進めていくために、灘区では毎年2回定期的に「さくら塾」を開催しています。

第16回さくら塾 ～多職種連携研修会～

第1部:ACPの事例から～ディスカッション～ ①訪問看護師 ②ケアマネジャー
第2部:講義『アドバンス・ケア・プランニング～これからの医療ケアに関する話し合い～』
講師:甲南医療センター 緩和ケア内科部長 山口崇先生 質疑応答

日時:令和3年9月25日(土)14:00～16:10
ZOOMミーティングを利用したオンライン研修 参加人数:68名

今回は「ACP」(人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取り組み)をテーマに、ケアの対象者が自分らしく最期まで生きることを支援するために、事例からACPを共に考え、連携や支援の方法を深めながら情報共有を目的とした研修会を開催しました。

第1部は、地域で支援されている訪問看護ステーションと居宅介護支援事業所からACPの事例を提供していただき、それぞれの事例について山口先生と事例提供者がディスカッションを行いました。

第2部では、「アドバンス・ケア・プランニング～これからの医療ケアに関する話し合い～」について、データや資料を基にご講義いただき、山口先生が関わられた事例の貴重なお話もお聞きすることができました。参加者からは、『具体的な事例からのアドバイスや視点などを聞くことができたため、課題等も理解でき、わかりやすかった』というご意見を多くいただきました。

また、質疑応答では参加者からたくさんのご質問を頂戴し、講師の山口先生から丁寧なご回答をいただくことができました。

ACPの基礎を理解し、日々の支援の中で取り組むポイントや気づきを学ぶことができました。

**********　参加者アンケートから　**********

・在宅と病院の連携を改めて考える機会となった。
・身近な場面でも、ACPの知識・技能が求められていることを思い知らされた。
・在宅の立場での関わりを知ることができた。退院カンファレンスの役割をより理解できた。
・患者本人と家族の気持ちに、医療側がいかに介入していくのか、実例を知ることができました。
・ACPの基礎から知ることができ、また実際の現場でのやりとりの実際を聞くことができて、自身の今後の支援業務の中で活用するためのヒントをいただけた。

令和3年度　第2回医療・介護関係者の研修

「家族支援の基本～在宅介護・看護を行っている家族への支援～」

〇家族支援の実際「終末期の療養者に対する事例

〇コミュニケーションの基本、より良い人間関係を築くためのコミュニケーション

講師：JCHO 神戸中央病院　家族支援専門看護師　皆本美喜氏

日時：2021 年10月22日（金）　14：00～16：00

ZOOM オンライン研修会　　参加人数：20 名

支援は患者本人だけに行われるものではなく、家族に対する視点も重要です。家族は様々であり、在宅では予後予測について、本人や家族がどうとらえているか支援者側と理解が異なる場合があります。在宅での療養が継続できるよう、家族支援に視点をあて、それぞれの職種が実践で活かせることができるポイントや支援方法について理解を深めることができました。

講義後、簡単なグループワークとディスカッションを行いました。家族に対する支援は患者・利用者の支援につながり切り離すことができません。家族支援について学ぶ良い機会となりました。

＊＊＊参加者アンケートより＊＊＊

・在宅サービス側が病院に求めていることが分かった

・家族支援は家族によって価値観も多様である。自分の物差しで家族を見るのではなく、多角的な視点を持ち、柔軟な対応が必要であること。

・家族システムについての理解を今後の支援に活かしていきたい。

令和3年度　第3回医療・介護関係者の研修

「病院から在宅、進むリハビリ連携～「家で暮らしたい」を支える取り組み～」

講師：神戸市立医療センター中央市民病院

リハビリテーション技術部　岩田健太郎　氏

日時：2021年 11 月 18 日（水）　18：30～20：05

ZOOM オンライン研修会　　参加人数：21 名

リハビリ連携が効率的に進むことで以前の生活に近い環境を取り戻すことにつながります。高度急性期病院が取り組まれているリハビリ連携の最新情報や、COVID―19 患者への早期からのリハビリ介入などについて事例を交えて貴重なお話をいただきました。退院後すぐに再入院にならないための退院支援を病院、在宅が多職種でしっかり考えることの大切さを改めて感じる内容でした。

骨折や脳血管疾患の方への運動器リハビリのイメージが大きいのですが、心不全や内部疾患の方へのリハビリについて理解を深めることができました。

＊＊＊参加者アンケートより＊＊＊

・リハ職として対象となる患者、利用者がここ数年で変化している事はなんとなく実感していたが、必要な支援の形を改めてイメージすることができた。

・目に見えない部分でもリハビリの重要性が改めてわかった。

・今後は内部障害の患者も増えると思われるが、現場としては病院での経過を含め、安全限界の情報、ICT を活用した情報共有により その場でのやり取りが出来るのはとても魅力的で、実際にその様に取り組めると良いと感じた。

新型コロナウィルス感染症に関連する情報などはどのように更新されていますか？
情報は日々更新されています。主体的に情報を更新するように心がけましょう

▶ 新型コロナウィルスの基礎知識（神戸市）

神戸市　新型コロナウイルスの基礎知識

検　索

▶ 検査や療養の流れ（新型コロナ）（神戸市）

神戸市　受診・検査～療養完了までの流れ

検　索

▶ 新型コロナウィルス感染症
療養者フォローアップガイド（神戸市）

検　索

▶ 入院・宿泊療養になったら（新型コロナ）（神戸市）

検　索

▶ 新型コロナウイルスに関する相談窓口一覧（神戸市）

検　索

▶ 追加接種（3 回目接種）に関するお知らせ
（神戸市）R3.11.30

神戸市　予約（新型コロナワクチン）

検　索

▶ **医療従事者等の心のケアにかかる電話相談窓口の開設**（神戸市　更新 2021.12.3）

電話番号：078-371-1855

受付日時：月曜日から金曜日まで
10 時 30 分から 18 時 30 分まで（祝祭日及び 12 月 29 日から 1 月 3 日を除く）

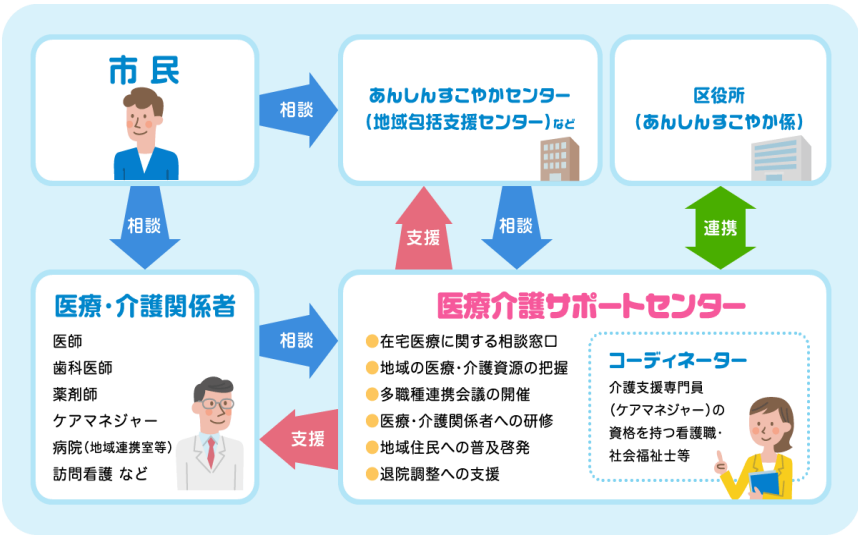
対象者：神戸市内在住もしくは在勤の医療従事者及び社会福祉施設従事者等

灘区　医療・介護　地域資源マップ　2021 年度版を発行いたします。

地域の医療・介護関係者の連携に必要な情報を提供することにより、地域の医療・介護関係者が、紹介先や協力依頼先を適切に選択、連絡できることを目的に、既に公表されている事項も活用しながら既存の公表情報等で把握できない事項なども必要に応じて収集させていただいております。灘区では初版を 2019 年 3 月に発行しています。

この度、改訂版を発行するにあたり、医療資源アンケートにご協力いただきました各事業所様に感謝申し上げます。

日々の在宅療養支援、医療・介護連携にご活用ください。来年 3 月頃より順次、灘区内の医療機関、歯科医院、保険調剤薬局、高齢者福祉施設、居宅介護支援事業所、訪問看護事業所、あんしんすこやかセンター、基幹病院、行政機関へお届けいたします。



このような相談を受けています。

【透析入院ができる医療機関、老健施設について】

要介護、3回/W透析実施、認知症が進行している。妻が心疾患でC病院に緊急搬送され、検査結果によっては手術を行う予定。本人は一人で在宅生活はできない為、本日から1週間の予定で他区の透析クリニックに入院した。その後、透析を受けながらしばらく入院できる医療機関をおしえてほしい。

【対応】

サポートセンター医療資源マップから灘区や他区の透析医療機関についての情報提供を行いました。

お気軽にお問い合わせください。

[灘区医療介護サポートセンターについて]

「医療介護サポートセンター」は地域の医療・介護関係者の連携をサポートすることで、安心して暮らせる地域づくりを目指します。

＝具体的な機能と役割＝

●在宅医療に関する相談窓口

医療、介護の関係者からの在宅医療に関する相談に対して、コーディネーターが必要な情報提供や支援・調整を行います。

●地域の在宅医療・介護資源の把握

地域ごとに、在宅医療に取り組む病院、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、介護施設などの情報を収集し、関係者間の連携・調整に活用します。

●多職種連携の推進(多職種連携会議の開催、医療・介護関係者への研修)

地域の医療・介護関係者の連携を推進するため、お互いの業務の現状を知り、顔が見える関係づくりを目的とした、多職種連携会議を開催します。また、医療・介護等の専門職を対象とした、在宅医療・介護に関する研修会を開催します。

●地域住民への普及啓発

市民を対象に、在宅医療・介護への理解を深めることを目的とした講演会などを開催します。

●退院調整への支援

退院調整は医療機関が実施することが前提ですが、諸事情により十分な退院調整を行うことができない場合等、退院後の円滑な地域移行に支障がある場合は、当該医療機関(地域連携室等)からの要請に応じて、医療機関が実施する退院調整への支援を行います。

研修会のご案内

「第17回さくら塾」 日時:2022年2月26日(土)

詳細が決まりましたら、皆さまへご案内させていただきます。ご参加お待ちしております。

医療介護サポートセンター ホームページのご案内

医療介護サポートセンターのホームページでは、各区サポートセンターの紹介やお知らせ、市民講座、研修案内、活動報告などご覧いただくことができます。ぜひ、ご活用ください。

URL:https://kobe-iks.net

灘区医療介護サポートセンターのページ

URL:https://kobe-iks.net/area/nada

QRコードはこちら

【編集後記】新型コロナウイルス感染症の流行が始まって2年が経過しようとしています。日々の感染予防対策を継続し、第6波に備えましょう。
皆さま、お身体くれぐれもご自愛ください。